

NEWS LETTER

刈谷駅周辺エリアプラットフォーム設立総会を開催

● 開催概要

12月16日(火)に、刈谷駅周辺エリアプラットフォーム設立総会を開催しました。第1部では、これまでのふりかえりを行った後、ゲストスピーカーによる講演会とまちづくりトークセッションを行いました。第2部では、始めに近藤智展副市長からご挨拶をいただき、設立宣言及び設立概要説明を行いました。



● ゲストスピーカーによる講演会



西 美有紀氏
(一般社団法人草薙カルテッド)

ゲストスピーカーとして静岡県静岡市の有度・草薙地区でまちづくりを行っている一般社団法人草薙カルテッドの西美有紀氏に登壇いただきました。

草薙カルテッドの概要

草薙カルテッドは、草薙駅の再開発を契機に事業完了後も民間主導でまちづくりを継続する組織として設立されました。「カルテッド」という名称には、2つの意味が込められています。一つは、産・学・官・民の4つの主体による連携を、音楽の四重奏(カルテット)になぞらえたものです。もう一つは、文教地区である草薙の特性から、文化(Culture)と教育(Education)の頭文字を組み合わせたものです。

コラボレーションスペース「Takt」の運営

学生が日常的にまちに滞留する場所がないという課題意識から生まれました。草薙カルテッドの学生会員は無料で利用できます。まず便利な作業場所として利用してもらい、そこで生まれるコミュニケーションを通じて、学生の「何かやってみよう」という思いをサポートし、地域の人や企業とのマッチングをしています。

若者や学生との関わり方

学生をまちづくりに巻き込む際には、学生が関わるメリットを明確にすることを意識しています。チャレンジに不慣れな学生に対しては、最初は具体的な指示を出すなど、状況に合わせて、自走できるように活動のサポートをしています。また、「記憶より記録」を重視し、成果を共有することを大切にしています。

官民連携における信頼の構築

行政と地域住民もお互いの目標達成のため、信頼関係が大切です。行政と住民が対面で座るのではなく、隣に並ぶような関係で会議を行います。会議は年に120回以上行い、密な情報共有をしています。成果が生まれた際は「みんなの手柄」とし、関係者全員で成功を分かち合うようにしています。

講演会のまとめ

私たちは日々出会う全ての人を「人材との出会い」だと捉えています。日頃からコミュニケーションを取り、相手が何に困り、何をしたいのかを理解する。自分たちの取り組みの中に、学生や企業が関われる余地はないか常に考え、相手に関わる理由(メリット)を明確にする。そして、チャレンジに慣れていない方には、走り出すための「型」をサポートし、関わってくれた活動の記録をきちんと残し、次の関わりに繋がる「種」を作っておく。こうしたことを日々意識して活動しています。

● まちづくりトークセッション

登壇者 秀島栄三氏(名古屋工業大学) 西美有紀氏(一般社団法人草薙カルテッド)

成田光宏氏(特定非営利活動法人まちづくりかりや) 佐藤布武氏(名城大学/カリマチ会議)

秀島氏:「学生を巻き込む」という点は、刈谷でも実現したいことだと思います。学生はいつかは卒業してしまいますが、プレイヤーがいなくなる不安はありませんか?



西氏:大半の学生は卒業すれば一旦終わりにはなりますが、卒業後も関わり続けてくれている方や数年後に戻ってくる方もいます。長い目で見るのが大事だと思います。

佐藤氏:「学生がやりたいことをやろうよ」と委ねてしまうと上手くいきませんが、ミッションがしっかりしていると上手く機能します。学生の関わり方をどうデザインしていくかが、これからの課題だと感じています。

秀島氏:まちづくりを引っ張る人が「この人についていこう」と思われるような、頼れる存在になる必要があるということかもしれません。

成田氏:これまでに学生さんと関わる機会があり、「参加したい」という声はあったのですが、活かすことができていないので、「この人だったら手伝えてあげたい」と思われるような人が刈谷にも必要だと感じています。

秀島氏:この「エリアプラットフォーム」という枠組みに、どのような期待を持っていますか?

参画されている団体・企業の方にもご意見をいただきたいと思います。

成田氏:エリアプラットフォームができれば、みんなで考えることで課題を解消できるのではないかと期待しています。それぞれの人が持つ「これができるよ」という力が集まることで、より多くのことができるはずです。

参画団体・企業:まちづくりに関わることに躊躇してしまうこともあります。お話を聞いて、何もできなくても、人が集まる場所に自分が行って楽しそうに過ごすだけで、まちづくりのためになるのかもしれないと思いました。自分ができることを精一杯やっていけたらと思います。

成田氏:まちづくりをみんなで取り組むことで、新しくまとまったこの組織が団結し、そこから何かが生まれていけば良いと思います。



● 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム設立宣言及び設立概要説明

特定非営利活動法人まちづくりかりやの成田光宏氏より、刈谷駅周辺エリアプラットフォーム設立の宣言をいただきました。愛称は、「カリぷら」です。ロゴには「刈谷駅らへんでぷらぷらしてみりん」というメッセージも書かれています。加えて、未来ビジョンの骨子についても発表させていただきました。



未来ビジョンの骨子

- 1 にぎわいを生む仕掛けづくり
- 2 憩いと滞在を誘う空間創出
- 3 移動を快適にする空間の創出とモビリティ強化
- 4 安全・安心な環境の確保

今永典秀氏 (Co-Innovation University教授・事務局長・まちづくりかりや理事)

皆さんにとって新しいチャレンジになります。企業、市民、商店街、行政など、立場の異なる人たちが関わるため、互いを尊重し、自分をアップデートする姿勢が大切です。この取り組みは、可能性が無限にあるスタートラインに立った段階です。未来を見据えて、みんなで一歩ずつ進むことが大切です。

アンケート結果

関心があるテーマ: 障害者等にとって心理的なハードルがない刈谷駅周辺のにぎわいづくり/情報発信 など
感想: 刈谷の未来創造のためにできることは積極的にやらせていただきたい/大変勉強になりました など

次回告知 日程: 2、3月頃の開催を予定 会場: 未定

※日時・会場が決まりましたらご連絡致します。

発行・問い合わせ

特定非営利活動法人まちづくりかりや
電話: 0566-45-6440
E-mail: info@machikari.com
刈谷市役所まちづくり推進課
電話: 0566-62-1022
E-mail: machi@city.kariya.lg.jp